

## 歴史民俗資料館

TOTSUKAWA FOLKWAYS HISTORY MUSEUM



資料館



### 十津川村文化財

#### ■国指定重要文化財・特別名勝天然記念物

区	分	名称	指定日	所有者
1	重要文化財	梵鐘	昭和34年6月27日	玉置神社
2	〃	玉置神社事務所及び台所	昭和63年1月13日	〃
3	重要有形民俗文化財	十津川郷の山村生産用具	平成3年4月19日	十津川村
4	重要無形民俗文化財	十津川の大踊	平成元年3月20日	小原・武蔵・西川大踊保存会
5	特別名勝天然記念物	瀬八丁	昭和27年3月29日	〃
6	史跡	大塚原跡・鹿野御蔵跡 小塚	平成14年12月19日	〃

#### ■県指定文化財

7	有形文化財	十津川郷宝蔵文書	昭和39年8月6日	十津川村
8	〃	十津川郷宝蔵大般若経	昭和39年8月6日	三村区
9	〃	注家住宅	昭和55年3月28日	五百瀬・辻盛一郎
10	天然記念物	杉の巨樹群	昭和34年2月5日	玉置神社
11	〃	枕状燧岩	平成9年3月21日	十津川村

#### ■村指定文化財

12	有形文化財	玉置神社及び境内	昭和51年7月20日	玉置神社
13	〃	轟の殿石塔群	平成4年2月24日	大字折立
14	〃	徳正殿・佐久間御成道所	平成6年12月20日	大字武蔵
15	〃	旧武蔵小学校	平成7年11月20日	大字武蔵
16	無形文化財	國王神社例大祭の武者行列	平成10年4月1日	中野村区
17	有形文化財	國王神社額 (伝 大久保利通額)	平成10年4月1日	中野村区
18	無形文化財	①川舞ぶし ②出谷舞ぶし	平成10年7月1日	出谷踊保存会
19	無形文化財	餅つき踊り	平成12年7月1日	平谷餅つき踊り保存会

#### 交通案内

- JR和歌山線五条駅からバス2時間40分
- JR紀勢線新宮駅からバス2時間10分
- 近鉄八木駅からバス3時間45分  
(十津川村役場前下車)



#### 十津川村 歴史資料館

開館時間 ■ 午前9時～午後5時(但し入館は4時まで)  
休館日 ■ 毎週火曜日 年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料 ■ 大人300円・小人150円

■歴史民俗資料館：〒637-1333 奈良県吉野郡十津川村小原 Tel. 0746-(62) 0137

発行：十津川村歴史民俗資料館  
印刷：共同精版印刷株式会社

十津川は明治二年(一四二)高野山文書で「遠津川」という文字で登場しています。「とんと十津川御救免どころ年貢いらすの作りどり」などと歌われ、白鳳年間より明治の初年まで租税勅免の地でありました。また南北朝、明治維新など歴史の節目にも十津川の名前が登場してきています。明治になり、町村制施行により、旧来の五十五ヶ村を併せて六ヶ村に編成されました。また明治二十二年の大水害に当って、被災者の大半六〇〇戸、二六〇〇名が新天地を求め北海道に移住しました。それが現在の新十津川町です。明治二十三年六月、六ヶ村を再併合して十津川村が誕生しました。

たゆまなく  
今に息づく  
その歴史と伝統

# 歴史民俗資料館



1F



一階は、世界遺産コーナー、十津川出身の著名人、明治の大水害の模様などの展示や、十津川村の昔の生活様式を再現し紹介しています。

世界遺産については、「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録された「大峯奥駈道」と「熊野参詣道小辺路」を写真やパネルで紹介しています。十津川出身の人物については、人材の全盛時代とも言える明治維新前後から5人の人物を選びました。

十津川村が生んだ詩人、野長瀬正夫氏に関する資料を展示しています。

また、明治の大水害のコーナーでは、当時の災害の模様と復興をもとに描かれた絹谷幸二画伯の原画「十津川に登る太陽」が展示されています。



2F



十津川村が神武天皇の御東征から明治維新において果たした役割はきわめて大きいと言えます。

数々の有形無形の文化財や貴重な文献など、誇り高い本村の伝統を知っていただくことを目的として2階の展示を行なっています。

こうした事物を見ることによって改めて「日本」という国の歴史を垣間見ていただければと思います。

